

2018年3月に発生した大型コンテナ船火災事故を契機に、米国貨物協会は米国内の各港に到着するコンテナのサンプル検査を開始したことを発表致しました。

本号では、米国向けコンテナのサンプル検査の概要と物流に与える影響についてご案内致します。

1. 米国向けコンテナ検査の概要

米国貨物協会(National Cargo Bureau)は海上輸送や貨物の安全性向上に向けて、米国向けコンテナを無償で検査することを決定しました。

当協会は長年に亘って米国から輸出されるコンテナをメインに検査を実施しており、昨年は31,000本のコンテナを対象に、梱包や積み付けの適切性について検査しています。

この実績を踏まえ、8月から Maersk 社が扱う米国向けコンテナのうち 100 本のサンプル検査を開始することとなりました。まずニューヨーク港・ニュージャージー港にて開始し、要望があれば他の港でも実施、検査結果を集計し貨物の申告内容や重量に関



米国の港を運行するコンテナ船(アフロ)

する傾向を分析していく予定です。同社取扱いコンテナの多くはアジアの各港からの輸入のため、お客様のコンテナがサンプル検査対象となる可能性もあります。なお、同協会は現在、貨物事故通知システム(Cargo Incident Notification System)に加盟している海運会社や輸送業者に対しても同様の提案を行っており、今後も検査対象が拡大する可能性があります。

2. 物流に与える効果

一部の荷送人が運賃や関税の負担額を減らすために危険貨物の申告を意図的に改ざんしていることに、海運業界は長年悩まされ続けていました。大型コンテナ船火災事故をきっかけに、この問題に対処する動きが出始めてきており、その一つが今回の米国貨物協会によるコンテナサンプル検査です。今後、対象コンテナ数やサンプル検査を実施する海運会社が拡大していくことで、危険物の梱包や積み付けの改善に繋がると言われています。

また、今回のサンプル検査により、コンテナ検査が実施されていない地域の輸送実態を把握することができ、各地域における輸送上の課題を把握することが期待されます。

先般、大手保険会社・アリアンツ社が発表した船舶の安全性に関する報告書には「コンテナ船の火災は世界の海運業界にとって最大の危機、コンテナ船の消火能力は船体の大型化に追いついていないのが現状である」と述べられています。多くのコンテナ船火災の事故原因がコンテナからの発火であることを踏まえると、今回のサンプル検査を通じて積載貨物の実態を管理していくことで、海上輸送サービス全体の安全性向上が期待されます。



【出典】

■ National Cargo Bureau will inspect containers ,American Shipper (最終閲覧日 : 2018/8/31)

<https://www.americanshipper.com/main/fullasd/national-cargo-bureau-will-inspect-containers--72126.aspx>

■ Deadly container ship fires finally spurring carrier action, JOC.com (最終閲覧日 : 2018/8/31)

https://www.joc.com/regulation-policy/transportation-regulations/international-transportation-regulations/horrific-maersk-honam-fire-killed-five-safety-wake-call-industry_20180716.html

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html